

**委託事業実施内容報告書**  
**平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(B)】**

受託団体名:特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク

**1. 事業名称** 「行政と連携して開催する、多様な背景を持つ外国人が通いやすい日本語教室」

**2. 事業の目的** ①これまで日本語教室に通いづらかった層を日本語学習に繋ぐ。  
②新たに掘り起こされた受講者を松本市多文化共生プラザの相談事業に繋ぐ。  
③日本語ボランティアの研修。  
④松本市の職員に外国人の実情を知ってもらう。  
⑤来年度以降、松本市が行う日本語教育事業(検討中)のテストケースとする。

**3. 事業内容の概要**

- ①近隣繁華街を回って受講者募集の広報を行うとともに、外国人住民のニーズを掘り起こす。□  
また、託児を設けることでこれまで教室に通えなかった乳幼児を抱える母親も日本語学習に繋ぐ。  
②外国人住民に「なんとなく行きにくい」と言われる多文化共生プラザに、日本語教室をきっかけに足を運んでもらうことで、いざという時に相談ができる場所として周知する。  
③既存の日本語教室からの「研修」の要望に応え、OJTの場とする。事前研修・授業見学・実践・ふりかえりを通して、現場指導する。  
④市の無料出前講座を活用しながら、子育て・防災など外国人住民の生活に役立つ情報を提供しつつ、市の担当者にも外国人の実態を知ってもらう機会とする。  
⑤外国人住民の日本語教育へのニーズとボランティア研修の手法に関して実施結果を検討し、来年度以降の松本市の日本語事業に反映させる。

**4. 運営委員会の開催について**

**【概要】**

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年9月5日 10:00~12:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	佐藤 佳子 坂本 尚子 勝家 隆 平林 啓太郎 山口 義子 神田 真理子 濱野 千恵子	「金曜午後の日本語教室」実施体制の検討	・本事業の目的について確認 ・周知・掘り起こし方法について検討 ・市の各部署との連携について検討 ・それぞれの取り組みの進め方について
2	平成26年3月17日 13:30~14:45	1時間	松本市多文化共生プラザ	佐藤 佳子 坂本 尚子 赤沼 留美子 勝家 隆 北平 朋子	「金曜午後の日本語教室」の実施結果について検証	・本事業の実施結果について報告 ・来年度事業へどう繋げるかの検討 ・市の各部署との連携について検証

**5. 取組についての報告**

**○取組1:夜間働いている人や小さい子どものいる人も通いやすい日本語教室**

- (1) 体制整備に向けた取組の目標 初級の日本語習得と生活相談の掘り起こし  
(2) 取組内容 ①夜勤の外国人や小さい子どものいる外国人が通いやすい時間帯に託児つきで日本語教室を開催する。  
②多文化共生プラザで開催し、生活相談を受け付ける。  
(3) 対象者 日本語を母語とせず、日本語学習の経験があまりない人。  
(4) 参加者の総数 30 人

(出身・国籍別内訳)

中国13人, タイ4人, フィリピン4人, アメリカ3人, ブラジル1人,  
フランス1人, スペイン1人, ネパール1人, ボリビア1人, ベナン1人

(5) 開催時間数(回数) 44 時間 (全 22 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年9月 13日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	13人	中国(3人)、 タイ(3人)、 フィリピン(2人)、 ネパール(1人)、 アメリカ(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 スペイン(1人)	自己紹介	使用教材は『いっぽにほんごさんぽ』 (スリーエーネットワーク)  第1課を題材として扱う。 自分の名前・出身地・仕事・年齢などが相手に伝えられる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
2	平成25年9月 20日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	16人	中国(6人)、 タイ(3人)、 フィリピン(3人)、 ネパール(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジ	身近な物の 名前 買い物	『いっぽにほんごさんぽ』 第2課を題材として  電話番号や値段などの数字が聞いてわかる・言えるようになる。 身近な物の名前を知る。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
3	平成25年9月 27日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	16人	中国(6人)、 タイ(2人)、 フィリピン(3人)、 ネパール(1人)、 アメリカ(1人)、 ボリビア(1人)、 スペイン(1人)、 ブ	指示詞 疑問詞	『いっぽにほんごさんぽ』 第3課を題材として  わからない物の名前があった時に日本語でたずねたり、誰のものかを確認したりできる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
4	平成25年10月 4日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	15人	中国(4人)、 タイ(3人)、 フィリピン(2人)、 ネパール(1人)、 アメリカ(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 スペイン(1	時刻の言い方	『いっぽにほんごさんぽ』 第4課を題材として  時刻が日本語で言える。 ATMや日本語教室が何時から何時までなのか、たずねて理解することができる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
5	平成25年10月 11日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	14人	中国(5人)、 タイ(1人)、 フィリピン(3人)、 ネパール(1人)、 アメリカ(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)	場所	『いっぽにほんごさんぽ』 第5課を題材として  トイレや自動販売機がどこにあるか、また買い物で自分の欲しい商品がどこにあるかが聞いてわかる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子

6	平成25年10月 25日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	15人	中国(5人)、 タイ(1人)、 フィリピン(3 人)、ネパール (1人)、アメリ カ(1人)、ベナ ン(1人)、ボリ ビア(1人)、ブ ラジル(1人)	曜日・天気	『いっぽにほんごさんぽ』 第6課を題材として  曜日の学習をきっかけに、自分の住 んでいる地域のごみの出し方を知 る。 松本市のごみの分別の種類を知る。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
7	平成25年11月 1日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	17人	中国(4人)、 タイ(3人)、 フィリピン(3 人)、ベナン (1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジル(1 人)、スペイン (1人)、アメリ カ(2人)、ス	生活の中で よく使う動詞	『いっぽにほんごさんぽ』 第7課を題材として  動詞を使って、自分の一日の生活に ついて話したり、相手に聞いたり可 る。 昨日・今日・明日などの時を表す言 い方が使えるようになる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
8	平成25年11月 8日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	18人	中国(6人)、 タイ(3人)、 フィリピン(3 人)、アメリカ (2人)、ベナ ン(1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジル(1人)、ス	行きます・ 来ます・帰 りますなどの 方向性を表 す動詞と 交通手段	『いっぽにほんごさんぽ』 第8課を題材として  行先や交通手段、また所要時間につ いて話したり尋ねたりすることが可 る。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
9	平成25年11月 15日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	中国(4人)、 タイ(3人)、 アメリカ(1 人)、ベナン (1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジル(1 人)	日付の言い 方	『いっぽにほんごさんぽ』 第9課を題材として  自分の誕生日や家族の誕生日、来 日した日などが日本語で言える。 会話の中での日時の説明が理解で きる。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
10	平成25年11月 22日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	19人	中国(9人)、 タイ(3人)、 フィリピン(2 人)、アメリカ (2人)、ベナ ン(1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジル(1人)	ごみの分別 これまでの 復習	6回目に触れたごみの出し方につ いて、レアリアを使って実際に分別を してみる。  後半はこれまでの復習。地図を使っ て、自分が旅行したことがある場所 について、「いつ・だれと・どこへ・何 で」などを使って話す。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
11	平成25年12月 6日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	14人	中国(7人)、 タイ(3人)、 アメリカ(1 人)、ベナン (1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジル(1 人)	食べます 飲みます (食べ物・ 飲み物)	『いっぽにほんごさんぽ』 第10課を題材として  日本での食事や自分の国の食文化 について話す。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
12	平成25年12月 13日 14:00～16:00	2時間	松本市多文 化共生プラザ	16人	中国(6人)、 タイ(3人)、 フィリピン(1 人)、アメリカ (2人)、ベナ ン(1人)、ボリ ビア(1人)、 ブラジ	道具や手段 について話 す	『いっぽにほんごさんぽ』 第11課を題材として  道具の名前やそれを使って何をする かを話す。 現在教室に参加している学習者も支 援者も主婦が多いので、台所用品や 調理に関する基礎的な日本語も学	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子

13	平成25年12月 20日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	15人	中国(6人)、 タイ(3人)、 アメリカ(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)	形容詞を使って、状態や気持ちをあらわす	『いっぽにほんごさんぽ』 第12課を題材として  形容詞を使って、物の状態や自分の気持ちをあらわす。  (少しずつ日本語を習得してきたなか、日本の生活がづらい・大変だと日本語で吐露する学習者も複数)	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
14	平成26年1月 10日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	10人	中国(5人)、 タイ(1人)、 アメリカ(1人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)	松本の正月文化と、12月までに勉強した内容の復習	松本にはいくつかの特徴的な正月行事があるので、レアリアをもとにその名称や意味などを知る。  年末年始を挟んだので、これまでの復習を中心に行った。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
15	平成26年1月 17日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	10人	中国(3人)、 タイ(2人)、 アメリカ(2人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)	色の名前  形容詞を使って人や物の性質をあらわす	『いっぽにほんごさんぽ』 第13課を題材として  これまでに学習した形容詞の復習をしながら、自分の家族や澄んでいる部屋、松本でおすすめのレストランなどについて話す。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
16	平成26年1月 24日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	10人	中国(3人)、 タイ(2人)、 アメリカ(2人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)	料理用語  好き嫌い	次回は松本市の出前講座で料理実習を行うため、基礎的な料理用語について学習。  食べ物や飲み物、スポーツなどについて、好き嫌いを表現する。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
17	平成26年2月7日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	10人	中国(2人)、 タイ(2人)、 アメリカ(2人)、 ベナン(1人)、 ボリビア(1人)、 ブラジル(1人)、 フィリピン(1人)	自分の希望・願望	『いっぽにほんごさんぽ』 第15課を題材として  「ほしい」「たい」を使って、自分の希望や願望をあらわす。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
18	平成26年2月 21日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	8人	中国(1人)、 タイ(3人)、 アメリカ(2人)、 ベナン(1人)、 ブラジル(1人)	自分の好き嫌いや得手不得手について	『いっぽにほんごさんぽ』 第15課を題材として  「好き」「嫌い」「上手」「下手」「得意」「苦手」などの形容詞を使って、自分の好きなことや趣味について話す。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子

19	平成26年2月 24日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	7人	中国(1人)、タイ(3人)、アメリカ(1人)、ベナン(1人)、フィリピン人(1人)	勧誘と断り	『いっぽにほんごさんぽ』 第16課を題材として  実際に相手を誘ったり、気持ちのわからない時にうまく断ったりする言い方を学習。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
20	平成26年2月 28日 14:00～16:20	2時間	松本市多文化共生プラザ	7人	中国(1人)、タイ(1人)、アメリカ(2人)、ボリビア(1人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	店の名前 「います・あります」	『いっぽにほんごさんぽ』 第17課を題材として  自分の部屋の絵を描いて、どこに何があるかを説明したり、松本にはどこにどんな店があるかを伝えあう。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
21	平成26年3月7日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ ／ Mウイング6階ホール	7人	中国(1人)、タイ(2人)、フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、ボリビア(1人)、ブラジル(1人)	助数詞 避難所体験	『いっぽにほんごさんぽ』 第18課を題材として  レアリアを使っていろいろな物の数え方があることを知る。  その後、市の人権・男女共生課が主催する、災害時の避難所体験に参加。外国人の視点から気づいたことを市の職員の方に伝えた。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子
22	平成26年3月 14日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	7人	中国(5人)、タイ(1人)、フィリピン(3人)、ネパール(1人)、アメリカ(1人)、ベナン(1人)、ボリビア(1人)、ブラジル(1人)	あげもらい 修了式	『いっぽにほんごさんぽ』 第19課を題材として  日本ではどのような贈り物文化があるか、また贈ってはいけないもの、熨斗袋の使い方などについて学習。  その後、日本人スタッフや見学者とともに修了式。 茶話会を開き、学習者からはギター演奏などがあった。	佐藤佳子 坂本尚子	平林啓太郎 山口義子 神田真理子 濱野千恵子

(7) 参加者の募集方法

日本語教室開催告知のチラシを1,000枚印刷。チラシは外国人も日本人も手に取ってもらえるよう、プロのデザイナーに作成を依頼し、多言語化。印刷もあえて業者に依頼。非常に目をひきやすいものとなった。

このチラシは、松本市多文化共生プラザや中央公民館に置くと同時に、松本市役所市民課の窓口で配布する「多言語ガイドブック」に挟み込み、転入してきた外国人すべてに配布された。

また、地元紙に日本語教育事業開始の告知記事が掲載された。

(作成したチラシは別添)

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

お子さんのいる受講者は教室で設けている託児(中央公民館保育室使用)に子どもを預けてから、授業に来る。

授業の流れは次の通り。

1. 全体授業(1時間) その日学習する項目や場면을クラス全体で学習。【←導入】
2. グループ授業(1時間) 前半で学習した内容を、グループにわかれてよりきめ細かく対応する。少人数になるため、発話機会も増える。【←定着】

【第6回 平成25年10月25日(金)】

『いっぽにほんごさんぽ』第6課

「ごみのひは なんようびですか」を題材として

※翌月には松本市の環境業務課から職員の方に来てもらい、ごみの分別について学習予定。

そのための事前学習と位置付けた。

A: 全体授業 14:00～15:00

1. 曜日の言い方と、おととい・昨日・今日・明日・あさってなど時をあらわす表現を学習
2. 曜日の漢字(この授業ではじめて漢字に触れる)
3. ごみの分別の種類と呼び方について学習  
『いっぽにほんごさんぽ』での分別の種類と、松本市の分別の種類が異なるため、授業では松本市の分別に基づいた種類と呼び方を学習。  
松本市では、ごみの分別表やごみ袋に書かれている注意事項が多言語化されているため、それぞれの言語で確認。
4. 自分の住んでいる地区のゴミ出しは何曜日か、出しているのは何時から何時までか、また、家族のだれが出すかなどを日本語で話す。
5. 自分の国のゴミの出し方と日本とは何が違うかなど、日本語で話す。

B: グループ授業 15:00～16:00

1. それぞれの学習者のレベルやニーズを考慮しながら、3～4名のグループに分ける。
2. 1時間目の全体授業で扱った内容を復習し、タスクや会話などで定着させる。  
受講者のレベルによっては、さらに発展的学習にも進む。

【第20回 平成26年2月28日(金)】

『いっぽにほんごさんぽ』第17課を題材として

※この日はKTC中央高等学院松本校(通信制高校)の学生さん3名と引率の先生が見学。

A: 全体授業 14:00～15:00

1. 上・下・前・後ろ・中・右・左などの位置詞を、絵やTPRなどを用いて学習・練習。
2. 「・・・に～があります／います」を絵などを用いて学習。
3. Mウイング(教室会場)の中にどんな施設があるか、また近隣には何があるかを学習。
4. スタッフや見学者も含めて、自分の家(部屋)の略図を書き、お互いに何があるか／いるかを学習者と日本語で話す。

B: グループ授業 15:00～16:00

1. それぞれの学習者のレベルやニーズを考慮しながら、3～4名のグループに分ける。
2. 1時間目の全体授業で扱った内容を復習し、タスクや会話などで定着させる。  
受講者のレベルによっては、さらに発展的学習にも進む。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ①子どもがいて日本語教室に通えなかった学習者:5名参加  
(タイ・スペイン・フィリピン・アメリカ・中国人、すべて女性)
- ②夜勤等で既存の教室と生活時間帯が合わず通えなかった学習者:4名参加  
当初、上記の2点の背景を持つ学習者の掘り起こしを目標とした教室であったが、実際にはその他の外国人からの申し込みも多く、平日昼間の教室のニーズが、なおあることもわかった。(市内には平日昼開催の教室がすでに2か所ある)

【開始前インタビュー・修了後アンケートとインタビューより】

＜以下、受講者アンケートの抜粋＞

- ・とても楽しいクラスだった。継続されないのは残念。
  - ・託児があったので、通うことができた。自分が疲れて教室に行きたくないと思っても、子どもが託児の先生に会うことを楽しみにしていて、休まず続けてくることができた。
  - ・今まで、平日の午後の時間の教室がなかったので、とても助かった。今は仕事が忙しくてなかなか日本語の勉強ができないが、もっと日本語が上手になって、昼の仕事をしたい。
  - ・この教室に来るまで、家にいてひとりだったけど、ここにきて友達ができた。1週間に1度、楽しみだった。
  - ・いろいろな日本人と触れることができた。ふだんは同国の人としか話さない。
  - ・ごみの分別の言葉がわかってよかった。
  - ・前に別の教室で勉強した文法もあったけど、実際にたくさん会話で使えてよかった。
  - ・料理や料理の道具などの日常よく使う表現が勉強できてよかった。
  - ・授業の前後も含めて、いろいろな国の人と話ができてよかった。自分ひとりが大変だと思っていたけど、みんなが頑張っている様子を見て、自分もがんばろうと思った。
  - ・授業の後、多文化共生プラザで仕事のことにについて相談できた。紹介してもらえてよかった。
- 日本語教室受講者から、松本市多文化共生プラザへの相談件数:7件  
うち子育て関係:2件、就労関係:2件、家庭内の相談1件、その他2件

(10) 改善点について

今回の日本語教室は、最初級(日本語を初めて勉強する人かほとんど勉強したことがない人)を対象としたが、実際にはさまざまなレベルの外国人からの問い合わせ・申し込みがあった。松本市内には今回の教室以外に、既存の教室が10か所あるため、可能な限りそれらの教室を案内したが、繋がらなかったケースも多く、せっかくの日本語学習の意欲をそがないよう体制づくりが必要と感じた。

また、冬の厳しい松本においては、どうしても冬期の学習者数は減少してしまう。今回は2次募集での採択であったためやむを得ないが、教室の開催時期は今後考慮する必要がある。

さらに、夜勤等で既存の教室と生活時間帯が合わず、日本語教室に通えていない外国人はまだ相当数いると思われる。さらなる掘り起こして、多文化共生プラザの相談窓口周知にもつなげていきたい。

○取組2:OJTによる日本語ボランティアスタッフの研修

(1) 体制整備に向けた取組の目標

事前研修・授業見学・実践・ふりかえりを通して、日本語教室に必要な基本的な意識と知識、受講者への対応方法を身につける。

(2) 取組内容

毎回の授業の流れは次のとおりである。

1. 学習内容についての事前研修(30分)
2. 授業前半(1時間):講師による外国人学習者への全体授業(←導入・練習)
3. 授業後半(1時間):補助者によるグループ授業(←応用練習・定着、個別指導)
4. ふりかえり(30分)

(3) 対象者 日本語ボランティア活動を行っている人・これから始めたい人

(4) 参加者の総数 32 人

(出身・国籍別内訳 )

日本人 32人

(5) 開催時間数(回数) 22 時間 (全 22 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年9月 13日 13:30~14:00 16:00~16:30	1時間	松本市多文化共生プラザ	7人	日本人(7人)	自己紹介	～は…です。 ～は…ですか。 はい、…です。 いいえ、…じゃありません。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子

2	平成25年9月 20日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	7人	日本人(7人)	身近な物の 名前 買い物	いくらですか。 なんですか。 だれですか。	佐藤佳子	坂本尚子
3	平成25年9月 27日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	14人	日本人(14 人)	指示詞 疑問詞	あれは なんですか。 (こそあど)	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
4	平成25年10月 4日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	時刻の言い 方	いま なんじですか。 ～じから ～じまでです。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
5	平成25年10月 11日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	10人	日本人(10 人)	場所	トイレは どこですか。 (ここ・そこ・あそこ・どこ)	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
6	平成25年10月 25日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	12人	日本人(12 人)	曜日・天気	…は なんようびですか。 (名詞)でした。 (名詞)じゃありませんでした。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
7	平成25年11月 1日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	12人	日本人(12 人)	生活の中で よく使う動詞	なんじに おきますか。 (動詞)ます・ません (動詞)ました・ませんでした	佐藤佳子	坂本尚子
8	平成25年11月 8日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	13人	日本人(13 人)	行きます・ 来ます・帰 りますなどの 方向性を表 す動詞と 交通手段	どこへ いきますか。 (いきます・きます・かえります) (交通手段)で いきます。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
9	平成25年11月 15日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	日付の言い 方	…は いつですか。 (期間)まえに	佐藤佳子	坂本尚子
10	平成25年11月 22日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	ごみの分別 これまでの 復習	助詞の整理	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
11	平成25年12月 6日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	14人	日本人(14 人)	食べます 飲みます (食べ物・ 飲み物)	…を たべます。 (のみます・みます・ききます等) (道具)で …を ～ます。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
12	平成25年12月 13日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	12人	日本人(12 人)	道具や手段 について話 す	…で ～ます …と ～語で はなします。 …は ～語でなんですか。	佐藤佳子	坂本尚子
13	平成25年12月 20日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	10人	日本人(10 人)	形容詞を 使って、状 態や気持ち をあらわす	い形容詞 …は です／くないです な形容詞 …は です／じゃないです	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
14	平成26年1月 10日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	14人	日本人(14 人)	松本の正月 文化と、12 月までに勉 強した内容 の復習	形容詞の分類・誤用	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
15	平成26年1月 17日 13:30～14:00 16:00～16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	色の名前 形容詞を 使って人や 物の性質を あらわす	(人)は <けいようし>です。 そして・でも とても・あまり	佐藤佳子	坂本尚子
16	平成26年1月 24日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	13人	日本人(13 人)	料理用語 好き嫌い	…がほしいです。 …がすぎです。 …から、～。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
17	平成26年2月7 日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	自分の希望・願望	…たいです。 …が わかります。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子



18	平成26年2月 21日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	11人	日本人(11 人)	自分の好き 嫌いや得手 不得手につ いて	…がじょうずです／へたです。 …がとくいです／にがてです。	佐藤佳子	坂本尚子
19	平成26年2月 24日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	9人	日本人(9人)	勧誘と断り	…へ ～に いきます。 …ませんか。 …ましょう。 …しましょうか。	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
20	平成26年2月 28日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	13人	日本人(13 人)	店の名前 「います・あ ります」	…に ～があります／います。 位置詞	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
21	平成26年3月7 日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ ／ Mウイング6階 ホール	10人	日本人(10 人)	助数詞 避難所体験	…は ～があります／います。 (所有) 助数詞	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子
22	平成26年3月 14日 13:30～14:00 16:00～ 16:30	1時間	松本市多文 化共生プラザ	12人	日本人(12 人)	あげもらい 修了式	…に ～を あげます …に(から) ～を もらいます	佐藤佳子	坂本尚子 赤沼留美子

(7) 参加者の募集方法

松本市内の既存の日本語教室(10教室)を訪問するなどして、事業の説明と声かけを行った。  
また、地元紙の取材を受け、受講者募集の記事が掲載された。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

A: 事前研修 13:30～14:00

その日、学習する項目や内容について研修。取組1の指導補助者4名だけでなく、  
既存の日本語教室のボランティアスタッフや、これから日本語ボランティアをはじめてみたい  
人など、広く対象とした。

B: 事後研修 16:00～16:30

今日の学習者の様子や学習項目の指導法、定着度合いについてふりかえり。

【第13回 平成25年12月20日(金)】

A: 事前研修 13:30～14:00

形容詞の分類「い形容詞」と「な形容詞」  
その活用について

B: 事後研修 16:00～16:30

グループ授業の学習内容や、学習者の定着度合いなどについて、全体で共有。  
講師からコメント・アドバイスなど。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

松本市多文化共生プラザが共催している「木曜午前ボランティア日本語教室」のスタッフ  
向け研修として計画したが、他の市内の既存の日本語教室のスタッフにも対象を広げた  
ところ、多くの日本語ボランティアや、これから日本語を教えたい日本人が受講した。  
ボランティアのすそ野を広げると同時に「生活者としての外国人のための日本語教育」  
という考え方を理解してもらうのに役立った。

【取組後のアンケート・インタビューより】

- ・これだけまとまった回数の授業見学ができる機会はなかなかないので、よい機会だった。
- ・教室によって、運営方法や雰囲気がまったく違う。ふだん自分たちの教室や自分の担当している学習者とのやり取りしか知らないなので、他教室が見学できてよかった。
- ・文法の知識や、教科書でそれがどう扱われているかがわかってよかった。
- ・研修を受けて、自分のやっているボランティア教室でもそのまま使えそうなアイデアがたくさんあった。
- ・座学だけではできない体験が、モデル授業の見学や実践を通じてできた。

(10) 改善点について

開催時間帯が平日の午後であるため、夜間や土日に開催している日本語教室からの参加がほとんどなかった。実際、それらの教室からはこの時間帯の開催では受講できないという意見が上がった。今後は、授業前後の短時間の研修だけでなく、土日のまとまった時間(1回2～3時間など)での研修も組み合わせ実施していきたい。

○取組3:松本市職員による、外国人住民に役立つ「出前講座」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

学習者は防災や子育てなどの必要な知識を身につける。  
市職員は外国人住民の実情を知り、相互理解を進める。

(2) 取組内容

市の職員による出前講座(無料)メニューの中から、外国人の生活に役立つもの(防災等)を選び、日本語教室内で開講してもらう。  
外国人にとって知識が得られることはもちろんだが、市の職員にも外国人住民の存在や現状を知ってもらうことで、相互理解を進める。

(3) 対象者 外国人住民・日本人住民、誰でも(受講者に限らない)

(4) 参加者の総数 43 人

(出身・国籍別内訳

中国10人、タイ4人、フィリピン4人、アメリカ3人、スペイン1人、ボリビア1人、ベナン1人、スペイン1人、ブラジル1人、ネパール1人、日本人16人

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全 3 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年10月18日 14:00～16:00	2時間	松本市多文化共生プラザ	23人	ネパール(1人)ボリビア(1人)タイ(1人)フィリピン(1人)中国(7人)日本(12人)	防災と災害時の行動について	松本市の危機管理課から日本語教室に職員を派遣してもらい、出前講座を行った。 近年日本で起きた災害の映像や、「地震」「震度」「洪水」などの用語も学習。 自分の住んでいる地域の避難場所の確認や、避難袋には何を入れるかを改めて考えた。 また、非常食の試食も行った。	今井 学	佐藤 佳子 坂本 尚子
2	平成25年11月29日 14:00～16:00	2時間	松本市クリーンセンター	25人	中国(9人)タイ(3人)フィリピン(2人)アメリカ(2人)ベナン(1人)ボリビア(1人)ブラジル(1人)日本(6人)	ごみの分別方法の学習とごみ処理場の見学	松本市の環境業務課と連携し、松本市のバスを無料で借りて、郊外にあるクリーンセンター(ごみ処理場)の見学をした。 授業のなかで、ごみの分別については触れていたの、比較的スムーズに見学ができた。 実際に目の前でごみが運び込まれる様子を見たり、かかる費用を聞くことで、ごみの分別の必要性が認識できた。	柏原英明 中島美和	佐藤 佳子 坂本 尚子

3	平成26年1月 31日 14:00～16:00	2時間	松本市中央 公民館料理 実習室	19人	中国(3人) タイ(2人)ア メリカ(2人) ボリビア(1 人)ブラジル (1人)フィリ ピン(1人)日 本人(9人)	日本の家庭 料理を作っ てみよう	松本市の健康づくり課と連携し、「栄養バランスのとれた、こどもも喜ぶ家庭料理」をテーマに出前講座を行った。節分が近いこともあり、簡単な巻さずしと具だくさんの味噌汁を実習で作った。その前後では、管理栄養士の方から栄養バランスについてのお話も伺った。	服山恭子	佐藤 佳子 坂本 尚子
---	-------------------------------	-----	-----------------------	-----	--	------------------------	--	------	----------------

(7) 参加者の募集方法

「金曜午後の日本語教室」参加者の他、他の既存の日本語教室にも広報。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

【第1回 平成25年10月18日(金)14:00～16:00】

「防災と災害時の行動について」

※事前に松本市危機管理課・担当職員と数回にわたり打合せ

＜当日の流れ＞

1. 災害に関する日本語  
地震・洪水・台風・震度・余震など
2. 災害時の映像  
阪神・淡路大震災、東日本大震災の際の映像、避難所の映像など
3. 避難袋に入れるものについて
4. 各自の避難場所を地図で確認
5. 非常食を食べながら、日本語で交流

【第2回 平成25年11月29日(金) 14:00～16:00】

「ごみの分別とクリーンセンター(ごみ処理場)の見学」

※事前に松本市環境業務課・担当職員と数回にわたり打合せ

※前週に市の担当職員に教室まで出向いてもらい、ごみの分別について事前に説明をしてもらった。

＜当日の流れ＞

1. 日本語教室に集合して、市のバスに乗る。(25人乗り・人権・男女共生課職員が同行)
2. バスで約15分でクリーンセンターに到着。
3. 環境業務課・担当職員の案内でクリーンセンターを見学。日本語で質問をして、やさしい日本語を使って答えてもらう。  
ごみが搬入される様子や、焼却される様子を見学。学習者からは費用や技術等について多くの質問が出た。見学の所要時間:約1時間30分
4. バスで日本語教室会場まで戻る。解散。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

この取り組みでは、

1. 外国人が知りたい情報を得られる／市は住民に伝えたい情報を発信できる。
2. 市の職員に外国人住民への理解を深めてもらう。

という2つの目標があった。

市の職員からは、「やさしい日本語で話すのが大変だったが、よい経験になった」「これまでごみの分別表は多言語で準備してあったが、外国人住民に接して話を聞いたのは初めてだった」などの声が聞かれた。

また、学習者の感想は以下の通り。おおむね好評であった。

【アンケート・インタビューによる聞き取りから】

- ・松本に地震が起きる可能性が高いことを初めて知った。
- ・避難場所がわかってよかった。
- ・小さい子どもがいるので、ふだんからおむつやミルクなどを準備しておこうと思った。
- ・いろいろ便利な避難グッズがあるのに驚いた。買えるところも聞いたので、買って準備しておきたい。
- ・ゴミ処理場で、人がプラスチックごみを手で分けているのを見て、分別の必要性がわかった。
- ・ゴミ処理にかかるお金が莫大で、びっくりした。
- ・バスでみんなで見学に行けたことが、ミニ旅行のようでとても楽しかった。
- ・巻きずしは難しいと思っていたが、とても楽しく簡単にできた。
- ・今度の子どものお弁当に巻きずしをつくってあげたい。
- ・日本人はふだんの食事やお弁当にも、栄養バランスを気をつけていることがわかった。
- ・もっといろいろな日本の家庭料理(日本人のお母さんが作るもの)を知りたい。

(10) 改善点について

今回は松本市の「出前講座」の制度を使ったため、担当課の職員さんにも依頼しやすく、打合せや当日の講義、バスを出していただくにもお金がかからず、連携も取りやすかった。職員の皆さんも打合せの段階から非常に積極的に関わっていただき、また多くの提案もいただき、大変感謝している。

ただ、せっかく今回連携を取ることができた職員さんの中にも、次年度は異動という方があり、担当職員のみならず、担当課との継続した連携体制を取ることが今後の課題である。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

- ①これまで日本語教室に通いづらかった層を日本語学習に繋ぐ。
- ②新たに掘り起こされた受講者を松本市多文化共生プラザの相談事業に繋ぐ。
- ③日本語ボランティアの研修。
- ④松本市の職員に外国人の実情を知ってもらう。
- ⑤来年度以降、松本市が行う日本語教育事業(検討中)のテストケースとする。

(2) 事業目的の達成状況

①「これまで日本語教室に通いづらかった層を日本語学習に繋ぐ」

子どもがいて日本語教室に通えなかった学習者:5名参加

(タイ・スペイン・フィリピン・アメリカ・中国人、すべて女性)

夜勤等で既存の教室と生活時間帯が合わず通えなかった学習者:4名参加

(※事前の背景調査(インタビュー)から)

②「新たに掘り起こされた受講者を松本市多文化共生プラザの相談事業に繋ぐ」

日本語教室受講者から、松本市多文化共生プラザへの相談件数:7件

(うち子育て関係:2件、就労関係:2件、家庭内の相談1件、その他2件)

本事業のコーディネーターが、事業外の時間では多文化共生プラザのコーディネーターとして勤務しているため、今回特に相談や困り事がなかった受講者にもプラザの機能を周知することができた。

また、上記の数字に含まれていないが、受講者が友人を相談に連れてきたケースもあった。

③「日本語ボランティアの研修」

木曜午前ボランティア日本語教室から補助者として参加したのは4名だが、

それ以外にも同教室から受講者として参加したり、他教室で日本語ボランティアとして活動している人たちの参加も含め、計32名が補助者・受講者として参加した。

また、OJTという新たな手法を用いて、座学ではない養成講座のあり方を実践できた。

④「松本市の職員に外国人の実情を知ってもらう」

出前講座として計3回の講座を市の職員とともに実施した。

松本市危機管理課、環境業務課、健康づくり課から各2名の職員に担当してもらうとともに、人権・男女共生課は共催者として課全体に主体的に関わってもらった。

⑤「来年度以降、松本市が行う日本語教育事業(検討中)のテストケースとする」

本事業の結果を反映させて、平成26年度は松本市としてNPOと連携する形で

文化庁に申請した。今回のテストケースとしての事業実施があったことで、松本市役所松本市役所庁内の了解も得やすかった。

### (3) 地域における事業の効果、成果

#### 取組1: 夜間働いている人や小さい子どものいる人も通いやすい日本語教室

【体制整備に向けた取組の目標】 初級の日本語習得と生活相談の掘り起こし

●子どもを連れた母親は5人、夜勤のある仕事についている人は5人だったが、受講者30名のうち、20名が既存の市内の日本語教室にはこれまで通っていなかった。

日本語を学習したかったものの、教室に行っていなかった人たちの理由としては、転入したばかりであったり、日本語教室がどこにあるかの情報を得られていなかったりだったが、今回は市役所の窓口(主に市民課)やプラザと繋がっている外国人キーパーソンから勧められた、という受講者が多かった。

今後もどのようにすれば、日本語学習希望者に情報が届くのかを引き続き検討したい。

#### 取組2: OJTによる日本語ボランティアスタッフの研修

【体制整備に向けた取組の目標】

事前研修・授業見学・実践・ふりかえりを通して、日本語教室に必要な基本的な意識と知識、受講者への対応方法を身につける。

●今回の取り組みで得られた成果は、

##### 1. 木曜午前ボランティア日本語教室スタッフのスキルアップ

これまで木曜教室の中でも、機会を見つけては研修を行ってきたが、あくまでも座学が中心の研修であった。今回、OJTの専門家からアドバイスを受けながら、

- ・文法事項の研修の積み重ねから入るのではなく、
- ・モデル授業を見てイメージを作り、
- ・実践にうつる
- ・実践を通して学ぶ

という段階を取ったため、スキルアップと同時にあらたなボランティア養成のありかたを試行できた。

##### 2. 市内の他の日本語教室のボランティアスタッフの日本語教育への理解促進

(日本語の教え方のみならず、特に「生活者としての外国人のための日本語教育」に対して)

平成25年10月に市が開催した、松本市多文化共生フォーラムでも「生活者としての外国人のための日本語教育」について文化庁からのお話をいただいたが、その内容と具体的な取り組み方の一例を、今回の事業を通じて伝えることができた。

##### 3. 市内の日本語教室の連携への第一歩

これまで市内に10教室あるそれぞれの教室が連携を取る機会ほとんどなかった。今回の日本語教室の研修には、10教室のうち6教室からボランティアスタッフの参加があった。これをきっかけとして、次年度以降はさらに連携を深めていきたい。

#### 取組3: 松本市職員による、外国人住民に役立つ「出前講座」

【体制整備に向けた取組の目標】

学習者は防災や子育てなどの必要な知識を身につける。

市職員は外国人住民の実情を知り、相互理解を進める。

●多文化共生を進めるためには、日本人住民の理解を進めるための啓発も重要だが、まずは市役所庁内の職員の理解を進めることが最優先であると考え。

今回、担当課は人権・男女共生課、危機管理課、環境業務課、健康づくり課とわずか4つの課ではあるが、まずはそれぞれの課の担当者の理解・協力が得られたことは大きな一歩である。

これを事例として、今後外国人住民にとって必要な課との連携を積極的に進めていきたい。

### i 現状

1. 「金曜午後の日本語教室」が今回修了したことで、公民館で開催している託児つきの日本語教室がまたなくなってしまった。ただし、市内には松本赤十字乳児院内で、託児つきの日本語教室が週1回開かれているため、学習希望者を積極的にそちらに繋いでいく。
2. 平日午後の時間帯の日本語教室も他にはないので、それについても今後開催の検討を要する。
3. 最初級の日本語教育については、既存の各ボランティア教室でも実施しているほか、後述する来年度以降開催予定の松本市の日本語教育事業でも引き続き行っていく。

ii 今後の課題

1. 公的な(最低限の)日本語教育の保障
2. 既存のボランティア教室からの研修の要望にこたえること
3. 既存の日本語教室のボランティアスタッフの負担軽減(特に最初級)
4. 日本語教室間の連携
5. 市役所の関係部署や地域や社会的資源との連携

iii 今後の活動予定

平成26年度は、NPOではなく松本市が主体となった日本語教育事業を、文化庁に申請中。  
概要は以下の通り。

1. 松本市として、外国人に最低限の日本語教育を保障する。
2. 最初級の講座を修了した受講者を既存のボランティア日本語教室に繋ぐ。
3. 既存の日本語教室と連携を取り、松本市内の日本語教室が横のつながりを持つことで、情報の共有ができ、結果的には日本語学習者にとって学びやすい環境となる。
4. OJTの手法を用いて、コーディネーターを養成し、ボランティアスタッフのすそ野を広げる。
5. コーディネーターは、市役所の関係部署との連携、地域や社会的資源との連携を取る。

(5) その他参考資料

本事業の広報に使用したチラシ(両面)を添付。



むりょう  
**無料**

きんよう ごご  
**金曜午後**の  
にほんご きょうしつ  
**日本語教室**

【Free】 Friday Afternoon Japanese Class

【免费】 星期五下午的日语教室

ห้องเรียน 【ฟรี】

Classe de japonês gratuito  
Kinyou gogo no nihongo kyoushitsu

【LIBRE】 Klase ng Nihongo tuwing Biyernes ng Hapon  
(Beginner)

ぜん かい  
**【全25回】**

2013. 2014.  
**9/13 金 → 3/14 金**

Sep.13, 2013 to Mar.14, 2014 [25 lessons]

2013年9月13日(星期五)～2014年3月14日(星期五)【共25次】

วันศุกร์ ที่ 13 กันยายน 2013 ถึง วันศุกร์ที่ 14 มีนาคม 2014

[เรียนทุกเดือน ๆ ละสี่ครั้ง ทั้งหมด 25 ครั้ง]

A partir de 13/setembro/2013 até 14/março/2014

[ Total de 25 aulas]

Septiembre 23, 2013 hanggang Marso 14, 2014

[25 Lessons]

ばしょ まつもと し たぶん かきょうせい  
**場所** 松本市多文化共生プラザ (Mウイング2階)

じかん まいしゅう きんようび ごご じ じ  
**時間** 毎週金曜日 午後2時～4時

Location: Matsumoto Multicultural Plaza (M Wing 2nd fl)

Time: Every Friday 2pm to 4pm

地点: 松本市多文化共生广场 (Mwing2 层)

时间: 每星期五 下午2点～4点

ที่เรียน : มัตสึโมโตะชิ ทะบุนกะเคียวเซิ พลากซ่า (ศูนย์วัฒนธรรมนานาชาติ) เอ็มวิ้ง ชั้น 2

วันและเวลา: ทุกสัปดาห์ วันศุกร์ เวลา บ่าย 2 ถึง บ่าย 4

Local: Matsumoto-shi Tabunka Kyousei Plaza (M-wing 2° and)

Horário: todas as sexta-feiras das 14 às 16h

Lugar: Matsumoto Multicultural Plaza (M-Wing 2nd Flr.)

Oras: Tuwing Biyernes 2pm – 4pm

しょきゅう  
**初級**

たくじ  
**託児**  
つき

Beginner/Childcare Provided  
初级 / 有托儿所

ภาษาญี่ปุ่น “เบื้องต้น + ผูกถูกได้”  
para iniciantes/ c/creche

Kayo ay Inaanyayahan!

May libreng tagapag-alaga ng mga bata

**M ウイング 2F**

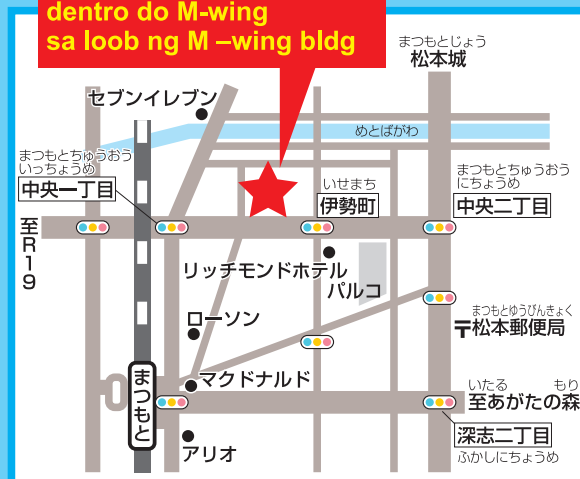
Chuo Kouminkan or M-Wing

中央公民館

ในอาคารเอ็มวิ้งค์

dentro do M-wing

sa loob ng M-wing bldg



いま ほんご べんきょう ひと  
 今まで日本語を あまり勉強したことがない人、  
 ぜひ来てください。  
 やきん かた ちい こ かた  
 夜勤の方も、小さいお子さんのいる方も  
 だいじょうぶ。 たくし むりょう  
 だいじょうぶ。託児も無料です。

Only had limited education in Japanese language?  
 Working at night? Have young children?  
**All of you are welcomed!**  
 Childcare is provided for free of charge.

欢迎没有学过日语的外国朋友踊跃参加。  
 上夜班的，孩子小的，也可安心参加，有免费的托儿所。

Limitado ba ang iyong kaalaman an ng salitang Hapon?  
 Nagtrabaho sa gabi? May mga maliliit pang mga anak?  
**Kayo ay Inaanyayahan!**  
 May libreng tagapag-alaga ng mga bata

ที่ผ่าน ๆ มา ผู้ที่ไม่ค่อยได้เรียนภาษาญี่ปุ่น  
 ผู้ที่มีงานช่วงกลางคืน หรือ ต้องดูแลลูก  
 คราวนี้ ช่วงที่กำลังเรียน ฝากลูกได้ ฟรี

Venham por favor, pessoas que não tiveram  
 oportunidade de estudar o idioma japonês até agora,  
 trabalhadores do turno da noite, pessoas que tem  
 crianças pequenas, disposição de berçário gratuito.



テキスト：「いっぽ ほんご さんぽ」（スリーエーネットワーク）ほか

ひらがな・カタカナを  
 べんきょう お  
 勉強し終わったレベルから  
 はじ  
 始めます。

（ひらがな・カタカナの教材がほしい人は、あらかじめお渡します。）  
 はや たぶんかきょうせい と ひと き  
 早めに多文化共生プラザまで取りに来てください。

**Textbook: "Ippo Nihongo Sanpo" and etc.**

\*Please study Katakana and Hiragana prior to the class.  
 \*If you need workbooks for Katakana and Hiragana, please ask at the Multicultural Plaza.

教材：「いっぽ ほんご さんぽ」等

※从学完平假名，片假名的水平开始学习。  
 ※想要平假名，片假名的教材者，可以事先来领取。  
 请尽早与多文化共生广场联系。

เนื้อหาจากตำราภาษาญี่ปุ่น：“อิโป นิฮงโก ซัมโป” ของ  
 (ทริเอ เน็ตเวิร์ค) ฯลฯ

※ระดับความรู้ภาษาญี่ปุ่น：ระดับผู้รู้และเริ่มเรียนภาษา อีรากานะ กาดากานะ แล้ว  
 ※เพื่อเตรียมความพร้อมก่อนเรียน ผู้ต้องการฝึกซ้อม ภาษา อีรากานะ กาดากานะ  
 โปรดเข้ามารับตำราไปฝึกก่อน แต่เนิ่น ๆ ได้ที่ศูนย์วัฒนธรรมนานาชาติ

**Texto: [ Ippo nihongo sampo] 3anet entre outros**

※Para início é necessário ter aprendido o hiragana e katakana.  
 ※Caso necessite de material para hiragana e katakana, entregaremos com antecedência. Por favor venha pegar o mais rapido possível no Tabunka kyousei Plaza.

**Libro: "Ippo Nihongo Sanpo" and etc.**

\*Mas mapapadali ang pag-aaral kung may konting kaalaman na sa pag basa ng Katakana at Hiragana.  
 \*Magtanong sa Multicultural Plaza kung nais humiram ng libro sa pag-aaral ng Hiragana at Katakana.

ぜん かい  
**【全 25 回】**

25 lessons  
 共 25 次

ทั้งหมด 25 ครั้ง

Total de 25 aulas

2013.9	13	20	27
2013.10	4	11	18 25
2013.11	1	8	15 22 29
2013.12	6	13	20
2014.1	10	17	24 31
2014.2	7	14	21 28
2014.3	7	14	

きんよう ごご  
**金曜午後の**  
 ほんご きょうしつ  
**日本語教室**

もうしこ さき まつもと し たぶんか きょうせい

**申込み先**

**松本市多文化共生プラザ**

To register

Matsumoto Multicultural Plaza

报名处

松本市多文化共生广场

ติดต่อสอบถาม

มัตสึโมโตะชิ ทะบุงกะเคียวเซิ พลาซ่า (ศูนย์วัฒนธรรมนานาชาติ)

Inscrição

Matsumoto-shi Tabunka Kyousei Plaza

Rehistrasyon

Matsumoto Multicultural Plaza

**TEL.0263-39-1106 FAX.0263-37-1153**  
 E-mail [tabunka@city.matsumoto.nagano.jp](mailto:tabunka@city.matsumoto.nagano.jp)

もうしこ とし

申込みの時には、名前・国籍・連絡先（電話番号か E-mail アドレス）を教えてください。

When you register, please inform your Name, Nationality, and Contact information.

报名时请告知姓名・国籍・联系方法（电话号码或 E-mail 网址）。

ตอนสมัครเข้าเรียน กรุณาแจ้ง ชื่อ สัญชาติ เบอร์โทรศัพท์ หรือ อีเมล ที่ติดต่อได้

Na inscrição, favor fornecer seus dados como: nome, nacionalidade, telefone ou e-mail para contato.

Isulat ang buong pangalan, nasyonalidad, at numero ng telepono.